

I 国立花山青少年自然の家について

1 国立花山青少年自然の家の目的

豊かな大自然のもとで、青少年の自然体験活動や集団宿泊生活のための利用に供することにより、次世代を担う心豊かで自主性に満ちた健全な青少年の育成を図ることを目的とした教育施設です。

2 国立花山青少年自然の家の教育目標

自主性に満ちた健全な青少年の育成を図るため、次のような教育目標を掲げ、その達成に努めています。

- (1) 自然の恩恵に触れ、自然に親しむ心や自然に対する畏敬の念を培う。
- (2) 規律、協同、友愛および奉仕の精神を養う。
- (3) 自然の中で心身を鍛え、自ら実践し、創造をする態度を養う。
- (4) 集団生活等をととして自主性・積極性・協調性の向上を図るとともに基本的生活習慣等を育成する。
- (5) 社会参加や社会貢献に対する意識および他者と関わる能力の向上を図る。
- (6) 郷土や国を愛する心や態度および国際理解の精神を養う。

3 施設の特徴

当施設は、宮城県西北端、仙台から約80キロメートルにある栗駒山系の御駒山西麓の標高322mに位置し、当所から北西16キロメートルの地点には宮城、秋田、岩手の県境を中心とした栗駒国定公園の中の主峰「栗駒山」があり、山麓一帯は国定公園に指定されています。

四季折々に色を変える草木や風が運ぶ小鳥のさえずりに自然の美しさを、そして一面銀世界に姿を変える冬の厳しさと、壮大な大自然の営みを見せてくれます。

活動エリアは、数多くの尾根と沢が八方に発達しており、起伏に富んだ傾斜地となっています。

また、当施設からは船形連峰、花淵山等が、また御駒山山頂からは栗駒山、花山湖、遠く伊豆沼が展望できます。



所章

花山の頭文字「H」と東石楠花（あずましゃくなげ）の花びらをかたどり図案化したものであり、また、花びらが4枚なのは、国立の少年自然の家の設置順が第4番目の意味です。

・図案初代庶務課長 松田靖夫氏



リック (マスコットキャラクター)

当施設の周辺でよく見られることや、親しみやすいことからマスコットを「リス」とし、リスをイメージさせることや、野外活動のメインである登山、ハイキングに不可欠なリュックにちなみ、ニックネームを「リック」としました。
(平成9年2月19日制定)